福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	民生児童委員活動事業						事業コード	030101440202		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進				
	施 策 名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進					施策コード	621		
事業担当	所属	150200 健康福祉部社会福祉課			所属長	高山 明子				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	01社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	100 頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市地域福祉計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	民生委員法、児童福祉法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	―									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 少子高齢化の進行やそれに伴う家族形態の変化、価値観の多様化を背景に高齢者の孤独死、高齢者や児童への虐待、ひきこもり、子どもの貧困やヤングケアラーの問題など地域に住む人々が抱える課題は一層複雑なものとなっている。このような中で、民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政をつなぐパイプ役として活動を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域住民の抱える課題は複雑多岐にわたり、身近に相談し行政や専門機関との「つなぎ」役となる、民生児童委員の活動に対する期待はますます大きくなっているが、担い手の確保が難しくなり、区域によっては民生児童委員が存在しない状況となっている。 経験年数の浅い委員が6割を占め、活動をおこなうための知識や経験の継承の重要性が高まっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 日頃から築かれている地域の人々との信頼関係のもと、福祉制度に関する情報の提供、高齢者や子どもの見守り活動、また災害時要配慮者の把握・支援など、住民の方々の最も身近な相談相手として活躍いただく、民生児童委員の活動をサポートし委員相互の連携を促進することで地域福祉の向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 民生児童委員の活動が円滑に行われるよう、以下の業務を行う。 ・毎月開催される地区単位の定例会議の資料準備及び、理事会・評議員会、各部会、委員会等の資料作成と会議運営を行う。 ・民生児童委員の活動費の支給、各地区民児協の地域福祉活動促進に係る補助金及び各民生児童委員連盟の活動に係る補助金の交付を行う。 ・民生児童委員からの個別相談の対応を行う。 ・民生児童委員の一斉改選を行う。（3年に1回）

対象者	民生委員・児童委員	対象者数	279	単位あたりコスト	177.7	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	業務委託：京都ユニオンサービス株式会社　補助金交付：福知山市民生児童委員連盟、各地区民生児童委員協議会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	88	推薦会報酬	使用料及び賃借料	89	高速道路等通行料、伝達式看板借上料
報償費	31,639	民生児童委員活動費	負担金補助及び交付金	5,592	民生児童委員負担金、民生児童委員連盟理事・評議員活動費補助金
旅費	13	普通旅費			民生児童委員地域福祉活動費補助金、民生児童委員協議会会長活動費補助金
需用費	1,405	消耗品費			民生委員地域福祉活動助成
役務費	135	郵送料			
委託料	107	運転代行業務委託、伝達式等業務委託			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	39,874	41,025	38,463	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		39,874	41,025	38,463	
予算財源内訳	① 一般財源	21,426	22,577	20,577	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	18,448	18,448	17,886	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 1,144	△ 1,252		
	② 配当予算	38,730	39,773		
	③ 執行額	38,246	39,068		
	④ 執行率	98.8%	98.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.47 / 0.80	0.84 / 1.35	/	/
	② 概算人件費	6,000	10,500		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		44,246	49,568		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	民生委員・児童委員活動費	民生費府補助金	17,636	22	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	5,710	5,709	5,826	5,159		
	民生児童委員の訪問活動の件数	目標値		5,838	5,838	5,838	5,838	5,838	
		達成度	%	98%	98%	100%	88%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	267	268	266	252		
	民生児童委員の数	当初見込		278	278	278	279	279	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・民生委員の活動を広報等で周知。 ・自治会長へ民生委員の選考について依頼する。 ・欠員地区を含む民生児童委員協議会へ、選考について依頼を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	81	74.3	76.7	82.5		
	研修会の出席率	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	81%	74%	77%	83%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	11	15	13	15		
	研修会の開催件数	当初見込		12	12	12	12	12	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・民生児童委員の全体研修の企画実施を行う。 ・民生児童委員の他市への視察研修を行う。 ・各部会の研修の事前準備などを行う。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	市（社会福祉課）に福知山市民生児童委員連盟の事務局を置き、民生児童委員の活動をサポートしている。必要に応じて、理事会や各部会等の会議を開催し、委員と行政との連携を図るとともに、行政施策の最新情報を提供したり研修会を行ったりすることで、各地区民児協活動の活性化に繋げた。 令和7年度の一斉改選で新任委員が約6割となり、知識やノウハウの継承が必要である。 民生児童委員の欠員解消に向けて自治会からの相談に応じたり、民生児童委員候補者の推薦がない自治会へ状況確認をしたり、候補者選定のための取組を行った。3月末現在27人の欠員がある。
現状の課題に対する改善策	民生児童委員の欠員地区に対して、次期委員の選考を継続して呼びかけていく。 併せて、欠員地区を含む民生児童委員協議会の会長へ、選考に対しての協力を呼びかけていく。 また、引き続き、民生児童委員の存在やその役割、活動内容などに対する地域住民の理解を促進するため、広報やチラシを通じて周知する。 民生委員の活動のQAについて民生委員の意見を反映し、より分かりやすくなるよう適宜更新を行う。 また、研修や各部会で積極的なディスカッションを行うことで、経験者の知識やノウハウを経験年数の浅い委員に継承していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	利用者負担額軽減措置事業						事業コード	030103420202		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進				
	施 策 名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進					施策コード	621		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	111 頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	介護保険法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	―									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・介護保険制度上の利用者負担軽減策と併せて、重層的に支援する仕組みとして創設
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・法人に負担を求めるものであり、補助基準を満たさない場合は全額法人負担となることから、法人にとって大きな負担となっている
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・費用の負担が困難な低所得者等が必要な介護保険のサービスを安心して利用できるようにする。 （社会福祉法人軽減、離島等地域軽減） ・法人の持ち出し費用の一部を公費により助成する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・当該事業の対象者である低所得者に対して軽減証を発行し、以下のとおり軽減を図る。 ・軽減証を所持する低所得者の利用者負担軽減を実施した法人に対し、軽減分の一部を補助する。 【社会福祉法人等軽減】・生活保護受給者は、個室の居住費に係る利用者負担を100%軽減。 ・生活保護受給者以外は、サービス利用に係る利用者負担、食費、居住費の25%を軽減。 【離島等地域軽減】・15%の特別地域加算が算定された介護報酬について、利用者負担を10%から9%に軽減。

対象者	社会福祉法人軽減、離島等地域軽減確認証の発行者	対象者数	254	単位あたりコスト	20.0
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	(福)五十鈴会、(福)空心福祉会、(福)成光苑、(福)清和会みわ、(福)仙人福祉事業会、(福)福知山学園、(福)福知山市社会福祉協議会、(福)福知山シルバー、(福)みつみ福祉会、(福)希望の丘福祉会、(福)丹の国福祉会、(福)長生園				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
需用費	24	消耗品費、印刷製本費			
役務費	40	郵送料			
負担金補助及び交付金	3,334	各種利用者負担軽減を行った社会福祉法人の費用を一部補助			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	3,798	3,706	3,675	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	3,798	3,706	3,675	
予算財源内訳	① 一般財源	950	927	919	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	2,848	2,779	2,756	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 6		
	② 配当予算	3,798	3,700		
	③ 執行額	3,678	3,398		
	④ 執行率	96.8%	91.8%		
人件概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.21 / 0.00	0.21 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	1,680	1,680		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		5,358	5,078		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	介護サービス利用者負担金減額事業	民生費府補助金	2,548	22	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	10	7	9	9		
	助成を行った法人数	当初見込		12	12	12	12	12	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・社会福祉法人に対する助成制度の周知								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	202	199	206	191		
	軽減証発行人数	当初見込		227	217	290	210	210	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・介護保険パンフレット等を活用した軽減制度の周知								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	社会福祉法人等による生計困難者等に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減及び離島等地域における特別地域加算に係る利用者負担軽減により、生計が困難な低所得者等も必要な介護保険サービスを利用することができている。
現状の課題に対する改善策	社会福祉法人において持続的に事業に取り組んでいただけるよう、引き続き本事業の趣旨及び目的の周知を図るなどの制度の推進に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	介護用品支給事業					事業コード	030202420538		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進			
	施 策 名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進				施策コード	621		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広			
会計情報	款	03地域支援事業費	項	02包括的支援事業・任意事業費	目	02任意事業費	会計	15 介護保険	決算附属資料	252・253	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中			
根拠法令等	福知山市在宅高齢者等介護用品支給事業実施要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	―										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護用品を必要とする非課税世帯の在宅高齢者及びその家族等の経済的負担が大きい。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 介護の際に必要となる介護用品購入に係る経済的負担が大きい。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 介護用品を必要とする非課税世帯の在宅高齢者及びその家族等に対し、介護用品に係るクーポンを支給することで経済的負担を軽減させる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 要介護2以上の非課税世帯の在宅高齢者の方に対して、紙おむつなどの介護用品を購入する場合に、クーポン券を支給する。 ≪助成額　月額≫ 要介護2：2,000円　要介護3～5：4,000円

対象者	福知山市在宅高齢者等介護用品支給事業実施要綱による	対象者数	1,000	単位あたりコスト	18.1
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	―				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	82	クーポン券印刷			
役務費	424	クーポン券郵送料			
扶助費	15,477	介護用品支給事業扶助費			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		19,648	19,276	19,256	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			19,648	19,276	19,256	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		7,564	7,421	8,653	
	③ 府支出金		3,782	3,711	3,707	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		8,302	8,144	6,896	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		19,648	19,276		
	③ 執行額		17,161	15,983		
	④ 執行率		87.3%	82.9%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.25 / 0.00	0.26 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		2,000	2,080		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			19,161	18,063		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額	決算附属資料		頁
	現年度分			第1号被保険者介護保険料	646		243	
	現年度分			地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	3,692		244	
	現年度分			地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	1,846		245	
	介護給付費等繰入金			介護給付費繰入金	6,670		245	
	介護給付費準備基金			介護給付費準備基金繰入金	3,077		245	
	介護用品支給事業返還金			雑入	51		246	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	608	606	600	574		
	事業利用者（実人数）	目標値		700	700	700	700	700	
		達成度	%	87%	87%	86%	82%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	事業	47	45	46	42		
	事業指定事業所数	当初見込		50	50	50	50	50	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	事業利用者へ指定事業者の周知を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	61	60	96	100		
	利用率（利用者/対象者）	目標値		60	60	60	60	60	
		達成度	%	102%	100%	160%	167%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	157	193	195	202		
	利用申請数	当初見込		200	200	200	200	200	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	利用対象者に対し、制度利用の呼びかけや制度の周知を行う。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	対象者人数に対する申請者人数が多く、ニーズに見合った事業である。 介護保険制度の地域支援事業として在宅高齢者及びその家族（介護者）の経済的負担を軽減するために実施しているものであるが、国における地域支援事業の制度改正を踏まえ、地域支援事業の対象外とされたところである。 令和元年度に対象者を非課税世帯のみと見直した後、令和2年度の国の通知により対象者をオムツ等が必要な方に限定する制度改正を行った。 令和2年度の通知は経過措置であり、今後国でのさらなる制度変更や厳密に地域支援事業の対象外とする変更も予想される。 高齢者本人や家族の負担を軽減できるような形で支援を継続していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	今後国でのさらなる制度変更等の動向を注視しつつ、高齢者本人や家族の負担軽減となるよう事業を継続していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	在宅高齢者配食サービス事業						事業コード	030202420571	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進			
	施 策 名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進					施策コード	621	
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課			所属長	谷口 智広			
会計情報	款	03地域支援事業費	項	02包括的支援事業・任意事業費	目	02任意事業費	会計	15 介護保険	決算附属資料 253 頁
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市在宅高齢者配食サービス事業実施要綱								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 近くに家族等支援者がおらず、栄養バランスのとれた食事が行えていない一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 担当ケアマネジャーや地域包括支援センター等専門職らのアセスメントシートをもとに利用決定を実施しているが、利用決定の是非について判断が難しい場合がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 食事の支度が困難であり、調理をする家族等がいない高齢者に対してお弁当を配達することで、高齢者の食の確保または栄養改善を図る。 また、手渡しで配達することで、利用者の安否確認ができ、高齢者が安心した生活を送ることができる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 食事の支度が困難であり、調理をする家族等がいない高齢者に対してお弁当を配達する。 配達の際には、利用者の安否確認をし見守り活動も行う。 毎日（日曜から土曜日）の昼・夕の2食の配食が可能。 弁当代520円は自己負担。（令和6年度までは、お弁当代432円。物価高騰等の影響で令和7年度より増額する。）

対象者	食事の準備が困難な在宅高齢者	対象者数	5,000	単位あたりコスト	5.6	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	ふくし事業協同組合、ライフデリ福知山店					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	27,751	配食サービス委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		24,738	36,384	28,611	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		24,738	36,384	28,611	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		9,524	14,008	12,855	
	③ 府支出金		4,762	7,004	5,508	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		10,452	15,372	10,248	
決算情報	① 流充用額		3,225	0		
	② 配当予算		27,963	36,384		
	③ 執行額		27,963	27,751		
	④ 執行率		100.0%	76.3%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.08 / 0.00	0.06 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		640	480		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			28,603	28,231		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	現年度分	第1号被保険者介護保険料	1,123	243	
	現年度分	地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	6,411	244	
	現年度分	地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	3,205	245	
	介護給付費等繰入金	介護給付費繰入金	12,343	245	
	介護給付費準備基金	介護給付費準備基金繰入金	4,669	245	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	343	365	396	379		
	利用者数	目標値		272	396	440	440	440	
		達成度	%	126%	92%	90%	86%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	116,492	120,893	133,756	130,362		
	年間配食数	当初見込		83,570	83,570	83,570	120,000	120,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	本事業が必要な方に周知する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	高齢者の食の確保、安否確認として在宅生活支援に寄与している。令和5年度、令和6年度は物価高騰による利用者のお弁当代負担額増加を防ぐため、1食あたり35円程の負担金を委託業者に支払い、利用者負担が増加しないよう対応した。令和7年度からは物価高騰による利用者負担金額増額を行い、利用者本人に負担していただいている。担当ケアマネジャーや地域包括支援センター等専門職らのアセスメントシートをもとに利用決定を実施しているが、利用決定の是非について判断が難しい場合（高齢のため、調理ができないのみの記載等）がある。
現状の課題に対する改善策	アセスメントを実施する専門職等に対して、対象者の詳細が分かるシートを作成いただけるよう伝えていく。また、アセスメントシートだけでは不十分だった内容を電話等の聞き取りで把握に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	安心生活見守り事業						事業コード	030202420577	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進		
	施 策 名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進					施策コード	621	
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課				所属長	谷口 智広		
会計情報	款	03地域支援事業費	項	02包括的支援事業・任意事業費	目	02任意事業費	会計	15 介護保険	決算附属資料 253 頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市安心生活見守り事業実施要綱								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 在宅で生活している一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に属する人は、住み慣れた地域で安心して生活するために緊急時の不安を感じている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 固定電話の設置が少なくなってきていること、協力員が高齢化し、事業の利用が難しくなってきていること。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 在宅で生活している一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に属する人などを対象に、コールセンターを利用して急病、事故等の緊急時における通報や日常生活における相談に対する助言等を行うために通報装置を貸与し安心・安全な生活を支援する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・対象者宅に緊急通報装置を設置する。・緊急時に緊急通報装置の緊急ボタンを押すと固定電話回線を通じて受託業者の受信センターに連絡が入り、センターからの要請で消防署へ救急車の依頼や近隣協力者に安否確認の対応をお願いする。 ・365日24時間日常生活における健康・介護・福祉の相談助言を行っている。 ・平成30年度から、希望する利用者へ見守りコールを行い、きめ細やかな安否確認を行う。・令和4年度より、新たに生活見守りセンサー（一定時間センサー反応が無い場合に受信センターへ自動通報する）による見守りを追加する。

対象者	①高齢者世帯②65歳以上のひとり暮らし高齢者③高齢者と障害のある人のみで構成される世帯 ④障害のある人のみで構成される世帯、のいずれかに該当する方	対象者数	10,000	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	ALSOKあんしんケアサポート株式会社				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	6,655	事業実施に係る委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	10,560	7,260	7,411	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		10,560	7,260	7,411	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	4,066	2,795	3,330	
	③ 府支出金	2,033	1,398	1,427	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	4,461	3,067	2,654	
決算情報	① 流充用額	△ 3,225	0		
	② 配当予算	7,335	7,260		
	③ 執行額	6,578	6,655		
	④ 執行率	89.7%	91.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.05 / 0.00	0.06 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	400	480		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		6,978	7,135		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額	決算附属資料		頁
	現年度分		第1号被保険者介護保険料		268		243	
	現年度分		地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）		1,537		244	
	現年度分		地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）		769		245	
	介護給付費等繰入金		介護給付費繰入金		2,799		245	
	介護給付費準備基金		介護給付費準備基金繰入金		1,282		245	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	2,421	1,511	1,460	1,214		
	相談通報件数	目標値		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
		達成度	%	121%	76%	73%	61%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	556	523	472	419		
	制度利用者	当初見込		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報による周知はもちろん、対象者へ直接案内していただくことが可能な民生児童委員や自治会長へ制度案内、メリット等を伝え登録者を増やしていく。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	対象者が住み慣れた地域で安心して生活するために緊急時の不安に対し対策を取っておく必要があるため、不安の解消及び安心した生活を送ることに寄与している。 固定電話の設置が少なくなっていたり、近隣協力者の負担が大きい等の理由により年々対象者が減少している。
現状の課題に対する改善策	広報による周知はもちろん、対象者へ直接案内していただくことが可能な民生児童委員や自治会長へ制度案内、メリット等を伝え登録者を増やしていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	生活支援･介護予防サービス基盤整備事業（重層的支援体制整備事業）							事業コード	030103202501		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進				
	施 策 名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進						施策コード	621		
事業担当	所属	150700 健康福祉部地域包括ケア推進課				所属長	塩見 康代				
会計情報	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	03老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	110	頁
計画期間	開始年度	令和8年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	第10次高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	地域介護予防活動支援事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ･少子高齢化に加え、一人暮らし高齢者世帯の増加また認知症を患う人が増加する中、医療･介護といった公的サービスの提供だけでは解決しない地域課題が増加している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと･最も直すべきところ ･公的サービスだけではない、地域が主体で進める支え合い･助け合いの活動の仕組みづくり ･介護サービスの需要増加が見込まれる中、身近な地域において高齢者を支援する担い手となる人材の確保
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 高齢者の「いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていきたい」という願いを叶えるために、高齢者の生活支援･介護予防の基盤整備を推進していくこと。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段･手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ･生活支援コーディネーター（第1層SC）を配置し、地域資源の把握を行うとともに、多様な主体による多様な取組のコーディネート機能を担い、一体的な活動を推進する。 ･支え合い活動団体の情報交換会や勉強会を開催し、活動の横展開やネットワーク構築を目的に、サービス提供主体間の連携の体制づくりを推進する。 ･各中学校区単位に配置する地域支援コーディネーター（第2層SC）は、地区カルテ（地域診断）を作成し、地域の支援ニーズや地域課題を抽出し、高齢者施策にとどまらない（多世代交流など）地域づくりの観点から、様々な関係機関との連携、コーディネート業務を行う。

対象者	市内高齢者	対象者数	22,991	単位あたりコスト	1.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先･実施主体等	福知山市社会福祉協議会･地域協議体				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	7	研修旅費			
需用費	117	消耗品費			
役務費	186	電信･電話料等			
委託料	18,707	その他の業務委託			
備品購入費	124	庁内備品			
負担金補助及び交付金	5	オンライン配信研修受講費			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		0	20,918	20,747	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		0	20,918	20,747	
予算財源内訳	① 一般財源		0	4,027	3,996	
	② 国支出金		0	8,053	7,987	
	③ 府支出金		0	4,026	3,993	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	4,812	4,771	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		0	20,918		
	③ 執行額		0	19,145		
	④ 執行率			91.5%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.00 / 0.00	0.70 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		0	5,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			0	24,745		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	重層的支援体制整備事業交付金（地域づくり事業分）	民生費国庫補助金	7,371	15	
	重層的支援体制整備事業交付金（地域づくり事業分）	民生費府補助金	3,686	23	
	介護保険特別会計繰入金（重層的支援体制整備事業）	他会計繰入金	4,404	39	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	57	519	502	未確定		
	地域住民との話し合いの場への生活・地域支援コーディネーターの参画回数	目標値		58	151	151	151	151	
		達成度	%	98%	344%	332%	－		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	0	73	91	未確定		
	地域主体の取組みについての広報記事件数	当初見込		0	80	80	80	80	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・支え合い活動のあり方を考える活動（検討団体を含む）団体との意見交換会、地域や多様な団体への制度及び補助金制度の説明、生活・地域支援コーディネーター向けの勉強会・研修等の実施、地域へ出向き、社会資源の発掘やニーズ把握を行い、地区カルテ（地域診断）を作成する。 ・地域で情報収集を行い、発信を行う、地区カルテ（地域診断）を参考にコーディネーター活動を行い、地域の方とのつながり（地区福祉推進協議会やサロン、自治会の主体者等との関係性）を構築する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	1	12	30	未確定		
	①への対応による地域での支え合い活動の開始件数	目標値		0	10	18	18	18	
		達成度	%	－	120%	167%	－		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績		89	475	482	未確定		
	地域の活動への参加回数（地域の人とつながり構築）	当初見込		84	216	216	216	216	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・支え合い活動のあり方を考える活動（検討団体を含む）団体との意見交換会、地域や多様な団体への制度及び補助金制度の説明、生活・地域支援コーディネーター向けの勉強会・研修等の実施、地域へ出向き、社会資源の発掘やニーズ把握を行い、地区カルテ（地域診断）を作成する。 ・地域で情報収集を行い、発信を行う、地区カルテ（地域診断）を参考にコーディネーター活動を行い、地域の方とのつながり（地区福祉推進協議会やサロン、自治会の主体者等との関係性）を構築する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	各コーディネーターが地域に入り、支え合いの取組を検討している人を見つけ出すことを継続して実施していることから、地域から支え合いの取組を検討している人をご紹介いただいたり、検討している人から直接問い合わせをいただく事例が出てきている（地域がコーディネーターを支援者として認識してくれている状態）。このようにコーディネーター活動が地域に浸透してきていることが、成果と考えられるとともに、新たな地域の支え合いの取組を開始しやすい土壌ができ始めていると考えられる。 課題としては、現状として1つのツールを中心とした活動へ誘導してきた事例が多いことから、一つのツールが下火になると廃止になるサロン等が出ることが予測されることから、一つのツールに拘らず広い視野で地域の方が自主的に何を実施したい・実施できるかを大切にして、様々な活動内容を想定し、支援する方向へシフトする必要がある。
現状の課題に対する改善策	・令和7年度本事業は特別会計予算から一般会計予算へ移行している。（重層的支援体制整備事業支援金の受け取り会計の国からの指定によるもの） ・各圏域（小学校区単位）の地区カルテを作成し、地域の強みと課題を見える化し、コーディネーターが住民とともに地域を考える、判断材料（根拠資料）を作成する。 ・日常生活圏域（中学校区単位）に地域支援コーディネーターを配置し、住民主体の支え合い活動をコーディネートできる人員配置と人材育成に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	生活支援・介護予防サービス基盤整備事業							事業コード	030201420581		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進			
	施 策 名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進					施策コード	621			
事業担当	所属	150700 健康福祉部地域包括ケア推進課					所属長	塩見 康代			
会計情報	款	03地域支援事業費	項	02包括的支援事業・任意事業費	目	01包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	会計	15 介護保険	決算附属資料	252	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次高齢者保健福祉計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 一般会計への繰出金 ）										
関連事業	地域介護予防活動支援事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・少子高齢化に加え、一人暮らし高齢者世帯の増加また認知症を患う人が増加する中、医療・介護といった公的サービスの提供だけでは解決しない地域課題が増加している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・公的サービスだけではない、地域が主体で進める支え合い・助け合いの活動の仕組みづくり ・介護サービスの需要増加が見込まれる中、身近な地域において高齢者を支援する担い手となる人材の確保
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 高齢者の「いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていきたい」という願いを叶えるために、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくこと。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・生活支援コーディネーター（第1層SC）を配置し、地域資源の把握を行うとともに、多様な主体による多様な取組のコーディネート機能を担い、一体的な活動を推進する。 ・支え合い活動団体の情報交換会や勉強会を開催し、活動の横展開やネットワーク構築を目的に、サービス提供主体間の連携の体制づくりを推進する。 ・各中学校区単位に配置する地域支援コーディネーター（第2層SC）は、地区カルテ（地域診断）を作成し、地域の支援ニーズや地域課題を抽出し、高齢者施策にとどまらない（多世代交流など）地域づくりの観点から、様々な関係機関との連携、コーディネート業務を行う。 【一般会計政策予算へ移行した生活支援・介護予防サービス基盤整備事業費の財源分（保険料23%分）を繰出しするための予算】

対象者	市内高齢者	対象者数	22,991	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 一般会計への繰出金 ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
繰出金	4,403	一般会計の生活支援・介護予防サービス基盤整備事業への繰出金			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		20,978	4,812	4,771	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			20,978	4,812	4,771	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		8,077	0	0	
	③ 府支出金		4,038	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		8,863	4,812	4,771	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		20,978	4,812		
	③ 執行額		20,557	4,403		
	④ 執行率		98.0%	91.5%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.70 / 0.00	0.70 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		5,600	5,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			26,157	10,003		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	第1号被保険者介護保険料	現年度分	4,403	243	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	一般会計の生活支援・介護予防サービス基盤整備事業（重層的支援体制整備事業）事業コード：030103202501　へ移行。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	一般会計の生活支援・介護予防サービス基盤整備事業（重層的支援体制整備事業）事業コード：030103202501　へ移行。
現状の課題に対する改善策	一般会計の生活支援・介護予防サービス基盤整備事業（重層的支援体制整備事業）事業コード：030103202501　へ移行。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	家族介護者支援事業					事業コード	030202420534		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち			政策目標	2 地域包括ケアシステムの推進			
	施 策 名	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進				施策コード	621		
事業担当	所属	150700 健康福祉部地域包括ケア推進課			所属長	塩見 康代			
会計情報	款	03地域支援事業費	項	02包括的支援事業・任意事業費	目	02任意事業費	会計	15 介護保険	決算附属資料 252 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次高齢者保健福祉計画	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・家族介護者が在宅で介護を行う時に、介護に必要な知識や手法が得られにくい。在宅介護アドバイザー事業を実施しているが、利用が少ない。 ・認知症の人を介護する家族が、日頃の認知症介護を通じて感じていることを共有する場がなく、精神的負担が大きい。現在、家族交流会は三和地域のみで開催している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・在宅介護アドバイザー事業について、家族介護者や関わる関係機関等に、さらに周知を行う必要がある。 ・家族交流会については、三和地域のみの開催となっているため、家族が参加しやすい形での開催が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 家族介護者等の身体的・精神的負担を軽減するため家族介護者を対象とした専門職派遣や家族交流会等を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・在宅で介護している家族を対象に、栄養士、歯科衛生士、作業療法士などの専門職が自宅を訪問し、介護についての困りごと、悩み事についてアドバイスを行う。 ・認知症を介護している家族を対象に、定期的に家族交流会を開催して、家族同士で情報交換や相談できる場を作る。

対象者	在宅で介護をしている家族	対象者数	4,162	単位あたりコスト	1.2
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	4	郵送費			
負担金補助及び交付金	17	在宅介護アドバイザー派遣負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		423	417	111	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			423	417	111	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		163	161	50	
	③ 府支出金		81	80	21	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		179	176	40	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		423	417		
	③ 執行額		51	21		
	④ 執行率		12.1%	5.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.75 / 0.66	0.50 / 0.40	/	/
	② 概算人件費		7,848	5,120		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			7,899	5,141		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類		実績金額	決算附属資料		頁
	地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	現年度分（国）		8		244	
	地域支援事業交付金（介護予防・日常生活以外の地域支援事業）	現年度分（府）		4		245	
	介護給付費等繰入金	介護給付費等繰入金		4		245	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	6	9	3	1		
	アドバイザー派遣回数（延）	目標値		10	10	10	10	10	
		達成度	%	60%	90%	30%	10%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	－	－	－	2		
	専門職アドバイザーに係る啓発回数（広報ふくちやま、イベント等）	当初見込		－	－	－	5	5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	家族介護者等の身体的・精神的負担を軽減するため家族介護者を対象とした専門職派遣等を行う。 対象者：家族介護者								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	－	－	－	143		
	認知症家族会参加者数（延べ）	目標値		－	－	－	130	150	
		達成度	%	―	―	―	110%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	－	－	－	10		
	認知症家族会啓発回数	当初見込		－	－	－	5	5	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	認知症家族を介護している人を対象に、家族会を開催し、悩みや苦労を話し合う場とする。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・アドバイザー事業については、市民や居宅介護支援事業所からの問い合わせも少なかったため、２，３年前から広報ふくちやまの掲載や介護保険事業所等にチラシ配布を行ったが、利用件数は増えていない。 ・認知症家族交流会については、一部地域の開催となっているため、家族が参加しやすい形での開催が必要である。
現状の課題に対する改善策	・アドバイザー事業については、ここ数年広報やパンフレットへの掲載など周知を行ったが、令和7年度も1件であった。専門職によるアドバイスは既存の相談窓口への相談により受けられることから、相談窓口に繋ぐ支援を行うこととし、アドバイザー事業としては令和8年度廃止と判断した。 ・家族交流会については、令和7年度から今まで開催していた三和地域に加え、南陵地域でも月1回開催をしている。南陵地域の家族交流会については、認知症の人と共に歩む会と共催している。今後も定期的に家族交流会が開催されるよう支援を行い、認知症の家族を介護される介護者の精神的な支援を継続して行う必要がある。